

刺繍が物語る地域と歴史
帝国の画家が描きとめた故郷の花文様のアルバム

ウクライナの装飾文様

ミコラ・サモーキシユ【画】 巽 由樹子【訳・解説】

A5判ヨコ・並製 96頁・定価：本体2300円＋税



1902年にプラハで、のちにハルキウとサンクトペテルブルクで再刊された、古い刺繍の文様のスケッチ40点をまとめたアルバムを複製。文様の特徴や、故郷・ウクライナの文様を写し取る一方、ロマノフ朝の御用画家でもあったミコラ・サモーキシユの生涯を繙き、ナショナリズムが芽生えていった時代について考える解説付き。

ミコラ・サモーキシユ(1860－1944)

ロシア帝国治下のウクライナに生まれ、革命をまたいで活躍した画家。「ロマノフ朝の御用画家」と「ウクライナの風俗を描いた画家」というふたつの顔を持つ。日露戦争や赤軍を描いた戦争画でも知られる。

巽 由樹子(たつみ ゆきこ)

東京外国語大学大学院総合国際学研究院准教授。専門は歴史学。主著に『ツァーリと大衆—近代ロシアの読書の社会史』(東京大学出版会、2019)、共訳にO・ファイジズ『ナターシャの踊り——ロシア文化史』(白水社、2021)、L・マクレイノルズ『〈遊ぶ〉ロシア—帝政末期の余暇と商業文化』(法政大学出版局、2014)がある。

歴史は現在と過去の対話である、と言われることがあるように、過ぎ去った時代を解釈する視角は、今、その作業に取り組む者の問題意識によって変化します。ただしその際、変わらずに参照される必要があるのは、過去の人々が残した記録、すなわち史料です。

サモーキシユが残したこのアルバムも史料です。

「解説」より

注文申込書	貴店名・帖合	注文数	発行：東京外国語大学出版会 TEL.042-330-5559 FAX.042-330-5199
			<p>ミコラ・サモーキシユ【画】 巽 由樹子【訳・解説】</p> <h2>ウクライナの装飾文様</h2> <p>A5判ヨコ・並製・96頁・定価：本体2300円＋税</p>
		冊	ISBN978-4-910635-09-5 C0071 ¥2300E

ご注文はJRCへ →FAX. 03-3294-2177 ※返品条件付き注文扱い